

新體制下の

## ラヂオ受信機

營業部  
ラヂオ課

飯

田

勝

紀元二千六百年の日出度き歳を送り茲に新體制下の陽春を迎ふるに當り、ほのぼのとした黎明の曙光を受けて曉鐘清音を傳へ萌上る一億の息吹きを覺えて爽かな緊張を心に深く感ずるのであります。

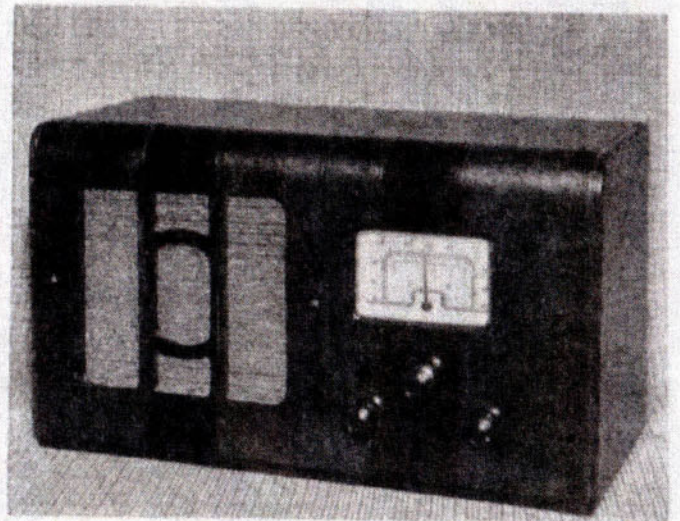
我國の放送事業も聽取者に於ては既に五百三十萬を數へ、ラヂオ受信機製造工業に於ては年産額六千萬圓を下らざる程の屈指の大産業を形成するに至りました。大正十四年東京の芝浦に假放送設備を爲してより僅かに十五年にして此の盛大を致した事は遞信省並に放送協會當局の指導計畫宜しきを得たるに因る事は固より申す迄もありませんが一面に於てはラヂオ業界關係者全部が強き一團となりて幾多の波瀾を乗り越へ協力前進した結果である事も亦争はれぬ事實であつて、此の成果に對し改めて深き敬意を表する次第で御座います。

申上げる迄も無くラヂオが單なる娛樂慰安の機關とし存在した時代は既に過ぎ去り今日に於ては國論の統合に、民族の練成に、健全慰樂の提供に非常時國防國家に取りて必須の機關として全く新しき使命を帯び來り再出發を爲すべき時となり、業界關係者も益々此等の認識を深めて來たのであります。

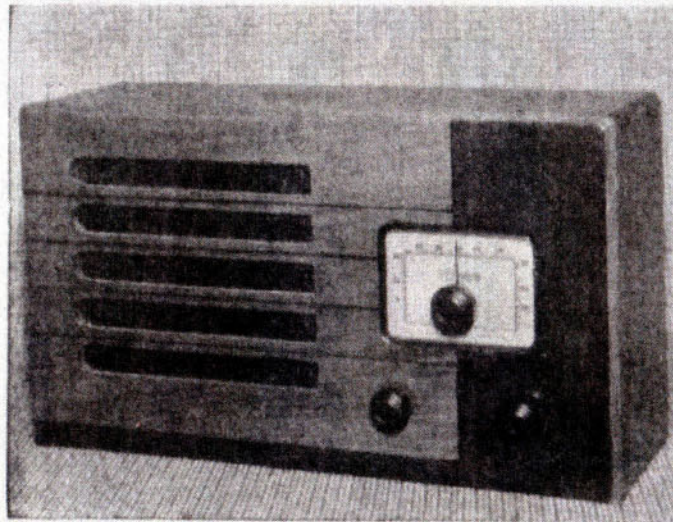
扱へラヂオ受信機の發達は其の心臟部を成す真空管の進歩に俟つ所が多いと謂はれて居るのであります。最近數年間に於ける真空管の發達は極めて目覺しく眞に恐嘆に値するものが多々あります。

初期の三極真空管は長き經驗に依り改善に改善を加へられ今猶は依然として重要な用途を持つのであります。更に四極管から五極管に迄進歩し最近に至りては七極管、八極管等も實用に供されて居る狀況であります。又多數の真空管を使用する受信機にありては真空管の占める容積を減少させる目的を以て二箇又は三箇の真空管要素を同一容器内に納めた所謂複合管が盛んに使はれて居ります。從來地理的關係から我國の電子管工業は米國方面の影響を受ける事が比較的多かつたのであります。が今後に於ては獨逸其他歐洲方面の技術も一層多く取り入れられる事と思はれ且基礎的研究乃至は工業的應用方面に於ける日本獨特の發達進歩も大いに期待せられるものと思ふのであります。

又昨年以來我國に外國とは行き方を異にした独自の所謂トランスレス真空管なるものが製作發賣されて居ります。トランスレス真空



第一圖 局型 123 號



第二圖 局型 122 號

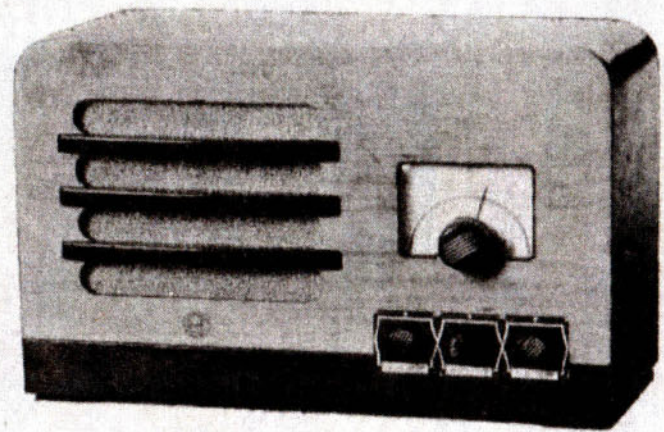
管の出現は電極材料の著しき進歩に負ふ處が多いのであります。此の真空管を使用する受信機は原則として變壓器を必要とせぬ爲め銅及鐵を極度に節約する事が可能となり極めて國策的である事は申す迄もなく、今後の普及促進に重大な關心が拂はるべきものであります。

顧つて我國經濟の實勢が如何に多難な問題を孕んで居るかは詳説する迄もなくつとに感ぜられる處であります。が昨年九月の三國同盟以後に於ける物動計畫を中心とする經濟體制の整備は決して便宜的、妥協的方法を以て乗り切る性質のものではないと確信されます。現今當面の現實は吾人が過去に於て經驗した何れの現實とも異つて其の性格は一變したと見るべきであらうと思ひます。斯様な際に當りトランスレス受信機の如く重要資材を余り必要とせぬ受信機を普及せしむる事は正に緊要な課題となつて参りました。日本放送協會が局型百二十二號(トランスレス三球式)及百二十三號(トランスレス四球式)の二種類を日本標準型受信機と定め其の普及計畫に周到な準備と異常な熱意とを傾注して居られるのは洵に時宜に適した方策と考へられます。當

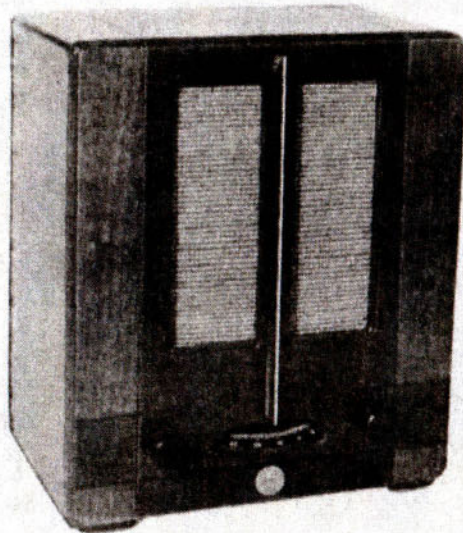
社も亦同様の目的達成のために我國に於ける  
トランスレス受信機の先驅として東芝四一型  
(三球式) 及東芝五一型(四球式)の二種を  
發賣し廣く全國の小賣市場に對し其の需要に  
應じて居るのであります。

東芝トランスレス受信機は資材を節約し得  
る外に色々の特徴があります。音色が非常に  
綺麗な事、變壓器を使用せぬため受信機の故  
障が極端に少い事、供給回路に相當廣い電壓  
變動があつても受信機の機能に悪影響を受け  
ない事、消費電力量の少い事、受信機の目方  
が軽い事等は其の最も優れた點でありまして  
一般に知れ亘つた事柄であります。かの物資  
の極めて豊富な米國に於てさへも需給兩者の  
協力に依りて昨年度製作受信機總數の過半が  
トランスレス受信機であつたといふ報告を聞  
き、製作目的が多少我國とは異なる事情がある  
に致しましても刻下の非常時日本としては此  
の新しい傾向に對して深く考へ、他山の石と  
して参考にすべきであると存じます。

更に量的方面から觀察しますと本年度のラ  
ジオ受信機需要總數は、新規聴取及買替を合  
せて内地向けのもの百四十萬臺と見込まれて  
居り之に外地向けの數量を加算すれば殆んど



第三圖 東芝受信機 51 型



第四圖 東芝受信機 41 型

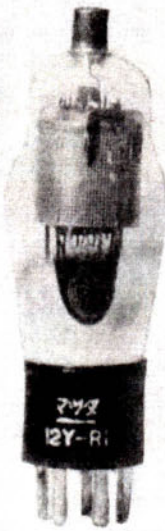
二百萬臺近くの製造が豫想されるのでありま  
す。從て是に要する生産資材は莫大な分量に  
達しますから之を確保する事に就ては一方に  
於て夫れ自身大きな問題を提供すると共に他  
方に於ては資材節約の建前を以て從來の交流  
式受信機から局型乃至トランスレス受信機に  
移行せしむるための製造方針の確立、實施の  
範圍並に時期の見透し等に關して総合的な結  
論が急速に要望されて居る所以であります。

受信機の製造は即ち真空管其他を含むラヂ  
オ部分品の加工組立であります。從つて受信  
機型式の變動移行は必然的に真空管電解蓄電  
器其他のラヂオ部分品の種別内容に或る程度  
の變遷を要求し、其等の生産能力に制約せら  
れて受信機の製造數量が決定される結果とな  
ります。此等の事態に對しては世紀的の激動  
期に際會したる光榮と責任を思ひ相互に協力  
して萬全の策を採り度きものと考へるのであ  
ります。何事も計畫文けにては國運の進展に副  
ふ事は出来ませぬ。實行に於て百パーセント  
の効果を擧げる事が眞に肝要であるとの信念  
の下に過大なる計畫の樹立は慎しむ要ありと  
思はれます。人的資源をはじめ物資、電力等  
總てのものが不足の際に於て徒らに理想と現

實とを混淆して一種の錯覺に陥る事の無き様に嚴に自戒すると共に、假令規模は雄大ならずとも常に可能な限度を睨み合せ決して是を無視せざる様に進み度きものと考へます。

又販賣の機構及價格に關しても大きな變化が認められます。昨年の七・七禁令以來一般商業信用は著しく收縮せられた上に更に物資並に商品の配給組織が大規模な激變を受けて新なる配給機構による様になり生産組合から加工組合、卸商組合、小賣組合を経て消費者に至る一聯の配給關係も再編成の途上にあります。斯の如き經濟組織の變革から招來される取引上の色々の問題は今後一層複雑化して行く事と想像されますがラヂオ業界に於きましても此の流れに超然たる譯には行かないのであります。もともと受信機其のものは七・七禁令の對稱となつては居りませぬけれども時代の影響は著しく是に反映して大きな壓力が感ぜられるのであります。現前の問題として既に發表を待つ許りとなつて居るラヂオ受信機公定價格に於て、受信機の種類は十四種に制限せられ、小賣價格は最高百五圓となり、型式は五球式迄となり其れ以上の多球式受信機は一般的には許されなくなつて行くと思は

れます。此の事は生産、販賣兩方面に相當の打撃を與へたのであります。現下の國情に於ては如何なる角度から見ても眞に止むを得ざる措置と解せられます。然し乍ら電子工學、無線工學の如く進歩速度の極めて顯著なる科學を基礎とし以て國防に或は國家總力戰に重要な役割を持つ所の眞空管工業、ラヂオ工



第五圖 マツダ12Y-R1



第六圖 マツダ24Z-K2

業等に從事する者としては價格統制の制壓に對して一時たりとも萎縮する事を許されなればかりでなく、進んで荆棘の道は如何に困難であるとも敢然之を開拓し、技術の研究は固よりの事、低物價政策に適應する生産及販賣の新機構樹立に大きな飛躍が要請せられ責任

は愈々加重されて來たのであります。

斯の如く見て参りますれば本年度の我國受信機界は年初の或る期間は製造移行のための準備期間として費され、同時に此間、取引事情の定常化する迄多少の起伏はあるとしても結局の大勢は局型受信機を中心とするトランスレス受信機時代を大きく現出するものと豫想され、又左様な趨勢を確實に把み之に向つて協同進歩する事が取りも直さず限りある資材を最高限度に活用する事となり國策に沿ふ所以であると確信するのであります。

(一五、一一、一)